大井町議会だより

2019. 2. 1 No.198

ひょうたん

第４回定例会……2
11月20日から21日までの２日間
第４回臨時会……3
一般質問　ここが聞きたい（３人）……5
委員会活動報告……7
各委員会の活動方針を決定
議員研修報告……8
町のこの人あのひと……10

「生きていること」を楽しもう

笑いの効果を実感！

中村（なかむら）　安雄（やすお）さん

みんな集まれ　どんど焼き

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp ／ URL http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/

この広報は、再生紙を使用しています。

国民健康保険税の引き下げを可決
～来年度から実施～

平成30年第４回定例会は11月20日から21日までの２日間の会期で開催され、条例や補正予算など７件の審議をしました。

一般質問には３人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

条例

大井町税条例の一部を改正する条例
（賛成10・反対１）

＊地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、大井町税条例において所要の改正を行うもの。

問 軽自動車税の環境性能割（注）の１台当たりの税額及び中古車も対象になるのか。

答 税額は購入額により異なる。中古車は50万円以上であれば対象となる。

（注）軽自動車取得税が改正後、環境性能割と名称が変わる。

大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
（賛成全員）

＊国民健康保険税の算定方式について、均等割額、平等割額の改正を行うもの。

問 本町の医療費は比較的低いが、全国的には増加傾向にある。今後の運営への影響は。

答 過去４年間のデータの推移を見て納付金が決まるので、増加傾向にあるときは検討し、議会に諮り運営する。

問 被保険者の税負担軽減を目的に、応益割（均等割、平等割）の引き下げを行うものであるが、応能割（所得割）について引き下げを行う考えは。

答 所得割については、昨年、資産割の廃止に伴い税率改正を行った。国保財政が安定している状況にあるので、所得割についても税率の引き下げを今後検討したい。

専決処分の承認

平成30年度大井町一般会計補正予算
（第４号）（賛成全員）

＊大井町議会議員に欠員が生じたため、12月９日を投開票日とする大井町議会議員補欠選挙が執行されることになり、係る支出の必要が生じたもの。

問 期日前投票所の設置箇所は増えるのか。

答 役場のみとなる。増やせない理由として二重投票防止のため、選挙人名簿の電子化等環境が整っていない。

期日前投票所

補正予算

一般会計
（第５号）（賛成全員）

＊負担金、補助金、委託料等の増加により、歳入歳出それぞれ6103万３千円を追加。

問 上大井小学校の下水道使用料は、漏水により補正で約23万円増額となるが設備の問題か。

答 水道管の老朽化による漏水である。修繕等はしているが、コンクリート等に埋もれている箇所の発見は出来ていない。今後も対策については検討していく。

特別会計

国民健康保険
（第２号）（賛成全員）

＊町村情報システム共同事業組合負担金を予備費にて調整。

介護保険
（第３号）（賛成全員）

＊介護保険指定機関等管理システム負担金、町村情報システム共同事業組合負担金の増加により、歳入歳出それぞれ211万２千円を追加。

民事調停

民事調停の申立て及び調停不成立の場合における訴えの提起
（賛成全員）

＊本町所有の金手駐車場において、相手方が軽自動車を長期にわたり放置し、再三の撤去指示に応じないため、裁判所に民事調停の申立て及び調停不成立の場合における訴えの提起。

車両が放置されている金手駐車場

小田新町長が所信表明

３人の新議員が初議会

平成30年12月26日、臨時会が招集され、小田原市斎場に係る事務の委託に関する協議について外１件の審議等を行いました。

また、小田新町長は、１期目の町政を担うにあたり、その所信を表明しました。

当日は、町長選挙と同日に執行された町議会議員補欠選挙で当選した３人の新議員が初の議会に臨み、鈴木議員、田中議員が企画経済常任委員会に、神保議員が教育福祉常任委員会に所属することが決まりました。

協議

小田原市斎場に係る事務の委託に関する協議について

＊小田原市斎場に係る事務を小田原市へ委託することに関して協議するため。

問 今まで斎場使用料は町が補助してきたが、今後は補助しないのか。

答 ２市８町の協議会において、今後補助をしないことを申し合わせている。

問 斎場の負担金について、算出方法は。

答 均等割が15％、実績割が85％である。

問 単年度の経費は、どれ位を算出しているのか。

答 整備費については、債務負担行為の限度額以内でおさまる予定。運営費については、まだ小田原市から示されていない。31年度当初予算には反映する。

選挙

南足柄市外四ケ市町組合議員の選出

＊平成30年２月６日をもって任期満了となるため後任の選出。

石井（いしい）　道展（みちのぶ）　氏

（再任　西大井）

あいさつ

神保　京子　議員

台所目線・主婦の目線って何？とよく聞かれます。台所から垣間見る身近な事は、男性よりも主婦（夫）や女性が身につまされる問題です。プラゴミの問題は一歩改善されました。今回も自転車で運動させて頂く中、町民の皆様に直接お会い出来ました。また歩道の改善や自転車道の必要性をより感じました。

田中　正彦　議員

私は、昭和22年に大井町に、生まれ育ちました。現役時代は小売業で企画畑を歩き、マーケティングや商品開発をやって来ました。「分からなくなったら生活者（住民）に聞け」が基本姿勢でした。この姿勢は町政にも通ずるものがあると思います。議員一年生、「初心忘るるべからず」を貫き通す所存でございます。

鈴木　磯美　議員

私は、大井町の町制が施行された昭和31年生まれの62歳、大井町と共に歳を重ねています。消防一筋38年、経験と知識を生かし災害に強い町を目指し、町民・自治会・企業・行政等とが協働で町づくりができるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

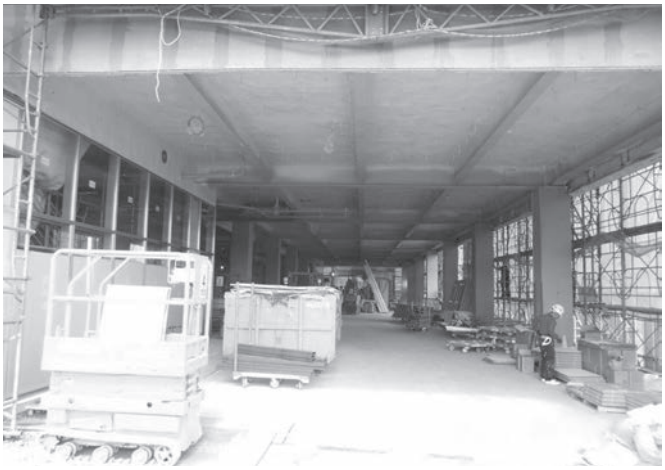
審議した議案と審議結果

○は賛成　×は反対
－は採決に加わらなかった議員
細田勝治議長は、採決に加わりません。

定例会・臨時会の別	議案番号	議案名 ＼ 議員名（議席順）と審議結果	田村俊二	牧野一仁	熊田和人	清水亜樹	伊藤奈穂子	曽根田徹	瀬戸和雄	北村正夫	清水豊司	石井勲	鈴木武夫	審議結果
第4回定例会	56	大井町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
	57	大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	58	専決処分の承認について （平成30年度一般会計補正予算（第４号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	59	平成30年度一般会計補正予算（第５号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	60	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	61	平成30年度介護保険特別会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	62	民事調停の申立て及び調停不成立の場合における訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

審議した議案と審議結果

定例会・臨時会の別	議案番号	議案名 ＼ 議員名（議席順）と審議結果	鈴木磯美	田中正彦	神保京子	田村俊二	牧野一仁	熊田和人	清水亜樹	伊藤奈穂子	曽根田徹	瀬戸和雄	北村正夫	清水豊司	石井勲	審議結果
第4回臨時会	63	小田原市斎場に係る事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



建設が進む小田原市斎場の様子

ここが聞きたい 一般質問

町独自の手話通訳者派遣登録制度の導入を

答　登録派遣制度を導入する

清水　亜樹　議員

問　町の手話通訳者登録派遣制度を導入する考えは。

町長　聴覚障がい者の情報保証を提供する手段として現在、神奈川県聴覚障がい者福祉協会に手話通訳者を派遣依頼している。今般、本町独自に制度を構築し、手話通訳者及び要約筆記者の登録派遣制度を導入する。

問　派遣要綱作成及び通訳者募集の時期は。

介護福祉課長　現行の要綱改訂を早急に取組む。通訳者募集に関しては、要綱改訂作業終了後に速やかに行う。

問　制度実施時期は。

介護福祉課長　来年４月から実施予定とするが、条件がそろえば年度途中でも始めたい。

問　要綱に、町内団体等の会議等に派遣できるようにする考えは。

介護福祉課長　幅広く使えて、利便性のある要綱にしたい。今後、策定に向け取組んで行く。

問　この制度が実施されれば聴覚障がい者が救急搬送された場合の病院への手話通訳者派遣についても、対応が可能となってくると思うが整備に向けた考えは。

介護福祉課長　本町が登録派遣制度を実施すれば、１市５町の足並みが揃う。救急対応は広域的な課題と捉えているので、１市５町で検討の場を設けた中で小田原市消防との協定締結に向けた話をしていきたい。

手話サークルの活動風景

市街化調整区域内の建物について問う

答 権限は神奈川県にあるので法に基づく権限はない

熊田　和人　議員

問 西大井地内に現在、建設会社の建物となっている建造物があるが、その建物は農業用作業場・倉庫として建築したと聞いているが、何故か使用目的以外の建設会社の使用となっている。この経緯は。

町長 この建物は、平成4年7月に神奈川県から開発許可が出されている。その後、都市計画法に基づく建築制限解除承認申請並びに建築確認申請を行い、農業用倉庫を建築したという経緯である。なお、開発登録簿によると、何らかの理由で開発行為の検査が行われていない状況である。

問 平成29年12月に所有権が建設会社に移転しているが、使用目的が農業用ではなく建設資機材等の置き場として使用していることが外観から分かるが、この事例は適法なのか。

町長 都市計画法に基づく許可指導権者は神奈川県であるため、町には法に基づく判断をすることや町が直接所有者に対して指導等を行う権限はないので、町としては神奈川県へ適宜情報提供を行っている状況である。また、神奈川県においても当該地の状況を把握しており、都市計画法上の疑義があるということで、所有者と改善に向けた対応を行っていると聞いている。農地法の観点からいうと、農地転用された時点で神奈川県の農地課及び町農業委員会の監視から外れるため、違法ではないと考える。

美しい田園風景の中に

パークゴルフ場整備は

答 財政の健全性の上において断念し線を引く

石井　勲　議員

【パークゴルフ場整備】

問 長い年月検討してきた懸案事業。町民・自治会・協会等からの要望、議会よりの要望や一般質問等で町の課題となり、第5次総合計画にも掲載されている事業、町の考えは。

町長 今年予算計上し委託検討してきたが、事業推進に当たっては、整備や維持管理費に膨大な公費を投入する必要性がある。又用地の確保に大きな課題があり、法的なクリアにも時間がかかる。又後年に大きな財政負担や課題を残す事業となるので私の責任の中で断念をし、線を引かせていただきたい。私も非常に残念である。約束してきたことをお詫び申し上げる。

問 委託先からの金額は2か所で約3億円と約4億円と提示された。この数字は高いように考えるが精査はされたか、長年検討された事業である。慎重にあらゆる検討をして判断すべきと考えるが。

町長 既存のパークゴルフ場と差別化していかなければと考え、ある意味では数字的なものが乗っていることは否定できない。一時の工事費より通年運営していくとどうなるかということが私の心の中で一番で、判断させていただいた。

【自転車利用者の環境整備は】

問 歩道・自転車の道路整備と、歩行者と自転車の事故における補償等の啓発は。

町長 町内の幹線道路は部分的ではあるが整備されているものの、それ以外の生活道路は整備されていない。県では30年度内に「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を定める方向、町としても県や警察と連携しながら自転車所有者に対して保険加入促進等を展開していきたい。

自転車は安全を確認し利用

各常任委員会等の活動方針を決定

企画経済・教育福祉・広報の3常任委員会及び議会運営委員会は、平成30年第3回定例会での編成替え後、委員会を開催し、向こう2年間の活動方針を決定した。

企画経済常任委員会

本委員会の所管事務は教育・福祉・税以外のすべてであり、多岐にわたっているが、今後2年間にわたって次の項目を中心に調査・研究を行い、町へ提言していく。

（調査研究）

1．**大井町中央土地区画整理事業に関する事**

2．**未病バレービオトピアに関する事**

この2項目については現在進行中の事業であるため、引き続き調査研究が必要。

3．**町の活性化施策について**

農業・商業・工業・観光・相和地域対応など現状把握が必要。

（一般会議）

調査研究を進めるにあたり、関係した各種団体等と現状把握に必要な一般会議を年2回程度実施する。

企画経済常任委員会

鈴木委員　石井委員　田中委員　北村委員
細田委員(議長)　牧野委員長　田村副委員長

教育福祉常任委員会

神保委員　曽根田委員　瀬戸委員　熊田委員
清水(豊)委員長
伊藤委員(副議長)　清水(亜)副委員長

教育福祉常任委員会

1．**障がい者の就労について**

障がいがあっても安心して暮らせる環境を整備するという観点から住居の確保と就労の問題は大きな課題である。特に障がい者の雇用・就労支援について本町の現状を調査し、より良いあり方を研究し町へ提言していく。

2．**学校現場における現状と課題について**

町内の各小学校・中学校における児童・生徒の生活習慣や学力等の実態を調査・把握し取り組むべき課題を抽出し、より良いあり方について調査・研究していく。同時に教員の働き方改革についても町の方向性を確認していく。

広報常任委員会

1．議会だより紙面の刷新

これまでも見やすく分かりやすい紙面を心がけレイアウトを工夫しデザインを改良してきたが、さらに読みやすく誰からも興味を持たれるような議会だよりとなるよう表紙レイアウトの見直しや新規のコンテンツを研究し、よりよい紙面作りに取り組んでいく。

2．議会報告会の充実

これまで予算審議を中心に行ってきた報告会だが、より多くの町民の声を聞くことが大事であるとの考えから今後は報告会の名称、内容等について調査研究し、町民との意見交換会を中心に進めていく。

3．ＳＮＳによる情報発信の調査研究

これまで検討していた議会のネット配信については費用対効果や人的課題もあり現段階においては見合わせることとなったが、ネット配信に代わるものとして比較的安価で運用できると思われるＳＮＳを活用した情報発信のあり方を調査研究していく。

議会運営委員会

通常活動として

1．次期議会の会期日程等の議会運営に関すること

2．議長の諮問に関すること

委員会独自の活動として

1．議会先例集の見直し

2．陳情の取り扱いについて

を審議していく。

なお、11月、議長より諮問があった。

1．議員定数の見直しについて

2．議員報酬について

3．その他関連事項について

今後優先して審議していく。

諮問に関する取扱いについての会議を11月に開催した。

議員研修報告

演題「不良」長寿のすすめ

講師　順天堂大学名誉教授　奥村（おくむら）　康（こう）　氏

去る、11月7日に寒川町町民センターにて神奈川県町村議会議長会の主催による議員研修会が開催された。

不良長寿のすすめと題して、免疫学者の第一人者である順天堂大学名誉教授、奥村康氏から講演があった。

奥村氏は、一般的に有害とされているタバコの有益性について、また薬の不要論など、私たちが日頃常識と捉えていたことを覆す話をされ、また演題の不良長寿について次のように話された。

ある国での統計学的な実験を紹介され、40歳の人を６００人ずつ２つのグループに分け、１つは真面目なグループでタバコは吸わない、お酒はほどほど、半年に１回医者に診てもらうなど管理されたグループ。もう１つの６００人は不良グループで、タバコは吸う、お酒は飲む、医者には行かない、この２グループを10年間フォローした結果、圧倒的に真面目な６００人のほうが亡くなった方が多かったようだ。

要因としては、コレステロールを厳重に管理しすぎたのではないか、また厳重な健康管理によるストレスで免疫力が低下したのではないかと推察している。

ストレスを溜めない生活が健康で長生きの秘訣のようだ。

人間の体では一日に１兆個の細胞が生まれており、そのうち５千個ががん細胞だそうで、その５千個の細胞を体中から隈無く見つけ出して、叩いているのがＮＫ（ナチュラルキラー）細胞だ。ＮＫ細胞は、がん細胞やウイルスが増殖しないよう、日々攻撃している。しかし年を取るとＮＫ細胞は弱くなりガンになる確率は高くなるようだ。ＮＫ細胞は声を出して笑うことで活性化するようだ。

本町で展開している笑いで健康増進の施策は、医学的に根拠があると改めて実感した。

政策の立案等をする上では、常識に捕らわれることなく、しっかり調査研究を行い、真実を知ることが重要だと今回の研修で学んだ。

（清水　亜樹）

足柄上郡町村議会議長会
議会議員広聴委員研修会

講師　取手市議会事務局　局長補佐
岩崎（いわさき）弘宣（ひろのぶ）　氏

11月15日、大井町役場会議室において、足柄上郡町村議会議長会主催で議会広報編集委員研修会が行われた。

研修内容は議会の広聴活動で、5町の広報・広聴委員が出席し4人から5人のグループに分かれワールドカフェ形式で行った。

傾聴体験では隣同士で、話し手側に対し聴き手側は90度となり、ただ話を聞くだけと、対面で話を聞くと言うことを行い、相手の気持ちに共感し理解する「共感的理解」、相手の話を否定せず、肯定的な関心を持って聴く「無条件の肯定的関心」、真摯な態度で真意を確認する「自己一致」を体験しながら学び、対話手法ではグループのリーダーを決め、広報・広聴機能低下をテーマに問題点を協議して、紙に書出し現状の問題、対策について議論した後、リーダー以外の方が他のグループの人と入替り、書かれている問題点に対して意見交換を行った。時間の関係で行われなかったが、意見交換で得た情報を最初のグループに戻り報告、討議して進めて行くことが大事なことであると話されていた。

最後に講師の岩崎氏が議会に係る実際にあった事例などを基に問題を出し、YES・NOカードを使ったクロスロードゲームを行った。

議会だよりの発行と議会報告会を行っている広報常任委員会では、議会報告会で町民から出された意見を取入れるなど改善にも務めているが、まだまだ改善しなければいけない課題がある。今回の研修を含め、町民の意見を生かせる議論、結果を出せる様に努めて行く。

（曽根田　徹）

自治功労者表彰

議員研修会に先立ち行われた自治功労者表彰式において、多年にわたり議員として地方自治の振興に寄与された功績により、県内の町村議員14名が神奈川県町村議会議長会から表彰されました。当町議会からは、北村正夫議員が受賞しました。

●町のこの人あの人●

「生きていること」を楽しもう
笑いの効果を実感！

坊村地区
中村（なかむら）　安雄（やすお）さん

ラフターヨガリーダーとして笑いの効果を多くの方に伝え広めようと活動する坊村在住の中村安雄さんを紹介します。

▼笑いヨガの原点

30年ほど前、行っていた自営業の不振から精神的に参っていた中村さんは「落ち込んだら大笑いする」という「笑いの練習会」に参加し、戸惑いながらも笑いに挑戦、するといつの間にか気持ちよく笑う自分がいたそうです。

この時、苦しくても「笑う」と楽しくなるという「作り笑いの効果」を実感したとのこと。それから約20年後のある日、テレビ番組で「笑いヨガ（ラフターヨガ）」を放送していました。笑いの効果を実感していた中村さんは、あのときの体験がよみがえり「笑いヨガ」の健康体操運動に参加されました。

▼活動内容

現在、大井町ではラフターヨガリーダーの中村さんを中心に「笑いヨガ」講習会が開催されています。名称は「あしがら富士山笑いヨガ」です。講習会では、中村さんが笑いのきっかけを作ると、参加者は縦横無尽に動きながら皆で笑ったり、時には泣いたり、はたまた宇宙語で話したり等々。誰でも楽しく参加出来るような雰囲気を大切にされています。

中村さんは「子どもの頃に戻って自分を表現できるように、笑って、歌って踊ることでいい笑顔が自然と出てくればいい。それこそ人間が本来持っている喜怒哀楽の自然な感情」と話されました。

さらに「笑いを生活の中に取り入れることによって楽観的で積極的な面を引き出してくれる。悲しみの中にあっても受け入れたり、すり抜けるすべを持てるようになった前向きな心が、幸せホルモンのセロトニンやエンドルフィンの後押しになっているのだろう」と語る和やかな口調に温かさを感じました。

▼将来的には

介護施設での開催や認知症予防として簡単なゲームを取り入れるなど手探りではありますが色々考えているとのことでした。

人生百年時代を見据えた構想はまっすぐ未来に向かっていると思いました。

そう話す中村さんは優しい笑顔に満ちていました。

うれしい！ たのしい！(笑)

町政を知る良い機会です
議会傍聴にお越しください

3月5日（火）午前９時　第１回定例会開催

問合せ先：議会事務局　☎85−5000　FAX85−3936

広報常任委員会

委員長　伊藤奈穂子
副委員長　田村　俊二
委員　石井　勲
委員　瀬戸　和雄
委員　曽根田　徹
委員　清水　亜樹
委員　牧野　一仁

編集後記

昨年末に行われた町長選挙、議員の補欠選挙により行政、議会ともに新たな体制で新しい年がスタートしました。

町の財政状況が懸念される中にあって、議会としても常に緊張感を持ち議員ひとり一人が責任ある言動を心掛けていきたいと思います。

広報常任委員会では新たな取り組みとしてＳＮＳによる情報発信について検討していきます。

併せて議会だよりの見直しや議会報告会の充実にも取り組んでまいります。

伊藤　奈穂子

平成31年２月１日　■発行／大井町議会・〒258-8501　神奈川県足柄上郡大井町金子1995　☎85-5000　FAX83-3936　■編集／広報常任委員会